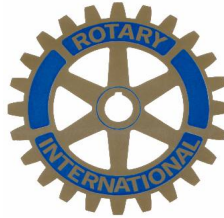


KUMAGAYA SOUTH
Rotary Club of
Saitama RI



Dist. 2570

2004.11.10

CELEBRATE ROTARY

President : kazutaka Ri
Secretary : Masayuki Tanazawa
Hotel Sun Route , kumagaya
Akebonocho2-22 kumagaya shi

No. 16

Glenn Estess , Sr .
RI President,2004-05
Yasuo Hashida Gouverneur
RI Dist 2570

第342回 卓話 財団学友・手塚隆司氏

本日のプログラム 11月21日(日)
移動例会 ごみ拾い



R 財団学友会前会長・手塚隆司氏

会長挨拶

会長 李 一孝

皆さんこんばんは。

11月7日、日曜に熊谷商工会館にて外国人スピーチコンテストが開かれ、当クラブのローズさんが参加されました。見事敢闘賞を獲得しました。まだ来日二ヶ月あまりですがなかなか発音よくスピーチされました。また昨日、11月9日には熊谷会館で地域安全・暴力排除推進大会に出席して参りました。協力された団体等の表彰がおこなわれました。今年は国体があったので特に関係団体のお骨折りは大変だったようです。

さて今月はロータリー財団月間でございます。ロータリー財団はどの様にできたかと申しますと、そもそもは1917年、アトランタで開催された国際

大会で、RI会長アーチ・クランフという方の提唱によって、アーチ・クランフ基金が創設されたのが始まりです。その名目は「人間を育てる教育のための奉仕基金」ということでした。

面白いことに、この年にライオンズクラブが創立しました。

ですからライオンズクラブの募金活動に刺激されたとも考えられています。何の根拠もなく極めて唐突であったため、募金も思うように集まらず、最初に寄せられた寄付金は、その翌年カンサスシティで開催された国際大会の余剰金26ドル50セントであったといわれています。それからしばらくして1928年ロータリー財団と言う名称になりました。その後たいした活動はおこなわれませんでしたが、1945年第二次世界大戦終了に伴って、ロータリー財団の目標は次の三つとされました。

1. 高等教育のためのロータリー財団奨学金制度、
2. 各国の国民の間に国際理解と友好関係を進めることを目的とした、確実に効果的なプロジェクトの育成、
3. 戦争や災害により、破壊や損害を被ったロータリアンと家族のための緊急時の救済方法の準備を目的として本格的な活動が開始されました。

ロータリー財団奨学金制度が始めて実施されたのは1947年であります。その年は実はポール・ハリスが亡くなった年で、そのため371,143\$の寄付金が寄せられました。おかげで18名の大学院生に奨学金が支給されることになりました。現在のロータリー財団の目標は、博愛、慈善、教育または人道的という特質をもつ明確かつ効果的なプロジェクトの促進を通じてさまざまな国の国民のあいだに理解と友好的関係を助長することである、となっております。

今月24日には横堀ロータリー財団委員長から、ロータリー財団についての卓話があります。この機会にご理解を深めて、できるだけのご協力をいただきたいと思います。

日米野球2004の第4戦が終わりました。今日は大阪ドームで第5戦です。野球ファンにとってはご自宅でテレビをご覧になるのがなによりだと思います。メジャー選抜チームは日本に来る前、シーズンが終わってしばらく経っているので合宿をやってきたそうです。負けられないと言うことで結構、気合いが入ってるようです。

さて大リーグといえば今年はイチローのシーズン最多安打の記録が一番のニュースだと思います。262安打、本当にすばらしいですね。

私の愛読書、週間ゴルフダイジェストに元巨人軍監督の川上哲治さんが毎週、喜怒哀楽ゴルフ日記というものを連載しております。

先週はこのイチローの快挙の理由についてでした。川上さんは野球好きな方から「何でイチローはあんなに楽々とヒットが打てるんですか?」という質問をよく受けるそうです。

イチローの独特のバッティング理論をゴルフ理論と比べながら詳しく、しかも楽しく解説しています。

結論としてこの快挙の理由はなにかというと、

イチローは今シーズン7月から右足を少し引いて構えだしたそうです。その結果、スタンスが狭くなり、それに つれてそれまで立てていたバットを寝かせ気味に構える今の形が自然にできあがったそうです。これがなければ新記録はならなかった、と彼自身言っております。イチローにとって、よほど大きな発見であったに違いありません。バッティングフォームが微妙に変わったのですね。

イチローの技術的な解説はとても面白いのですが、さらに特に感動したのは「記録達成後のイチローの

発言を聞いていると、技術のレベルにとどまらず、人間として大きくジャンプしたとを感じる。」

「この男、野球で人間を作り上げてしまうな」と川上さんは思ったそうです。川上さんは打撃の神様と呼ばれたことがある。しかしイチローは走攻守の3拍子がそろっている。本当の野球の神様が日本に生まれたと思った。

これは自分の職業を通じて人間として悟りを得てしまったということを意味するでしょうか?。彼は31歳です。もしそうだとしたら、これこそ職業野球人として、プロ中のプロということです。

もしイチローがロータリアンだったら最高の職業奉仕のできたロータリアンということになります。わたしはこれを読んだ瞬間、自分も歯科医療を通じて自分という人間を作り上げなければ、と再確認しました。ひたすら職業奉仕を続けていくことが大切だと思っております。

卓 話

国際親善奨学金と学友会活動

R 財団学友会前会長 手塚隆司氏

皆様こんばんは。ロータリー財団学友の手塚隆司と申します。本日はこのような機会を頂きありがとうございます。行田出身で学校は熊谷であったため、地元での卓話の機会ということで非常に楽しみにして参りました。本日はロータリー財団国際親善奨学金および私の留学経験についてお話をさせていただきますと思います。

ロータリー財団国際親善奨学金は財団で最も古いプログラムのひとつであり、これまでに3万人以上が受給をしております。元国連高等弁務官の緒方貞子氏は日本で最初の奨学生であります。世界中の学術機関での就学が可能で例年約1,000名以上の奨学生が世界60カ国以上へ派遣されています。この奨学金プログラムでは学問を修めることも重要ですが、それ以上に国際親善大使として国際理解、親善交友に積極的に貢献することが期待されています。対象は大学生、大学院生のみならず社会人も含んでおり、一度社会に出て再び学問を追究することを目指す方にも門戸を開いております。この2570地区でも40代、50代の方が留学されたことがございます。この地区からは例年8-10名程度が派遣されており、今年もこの夏に8名が渡航をいたしました。今年の奨学生の渡航先は、イギリス2名、フランス2名、ベルギー、アイルランド、アメリカ、オーストラリアとなっております。現地から様子を伝えるさまざまな報告が届いています。なお来年度は4名派遣の予定で、先日選考試験に合格した候補生がオリエンテー

ションなどを通じて準備を始めています。

この 2570 地区では 1988 年に地区分割後約 120 名の奨学生を輩出してまいりました。奨学生の専門分野はさまざまで、主な活躍の分野は語学系を中心とした教職や研究職、報道に関する分野、芸術関係、国際ビジネス関係、と実に多岐にわたります。

この奨学金制度では、奨学生はまず地元のロータリークラブの推薦を受け、顧問ロータリアンに出発前の準備にあたってさまざまなサポートをお願いしております。例会や各種行事への参加を通じてロータリーの理念や、実際の活動、地元のことについて学ぶ機会を作っていただいています。その後出発後には現地にも顧問ロータリアンがついて下さり生活面や精神面でサポートをしていただいております。これまで多くの学生が、空港まで出迎えていただいたり、生活の基盤が出来るまで部屋を提供していただいたり、現地でのロータリー活動に参加させていただいたり、と数多くの支援を賜っております。こうしたロータリーとのつながり、ロータリアンとの交流が通常の留学と最も異なる点であり、通常の留学生が見ることの出来ない現地のさまざまな世界に触れることが出来るというのが非常に大きな特徴となっています。

こうしてさまざまな恩恵を受け留学をし、勉強を終えて帰国するわけですが、帰国後奨学生は学友として学友会の活動に参加いたします。学友会ではこれから留学する候補生のための年間 5 回のオリエンテーションの企画運営、奨学生選考試験への協力、財団セミナーやクラブ例会への参加、学友会ニュースの発行、地区大会への参加などを通じてこれまで学んだことを活かし、受けてきたご恩に報いるべくそれぞれの学友は時間を調整しつつ活動に参加しております。特に学友会ニュースや、地区大会でのパネルディスカッションですとかインターネット中継などのイベントを通じて地区のロータリアンの皆様に、どのような活動をしているのかを出来るだけ広くお伝えしていこうと日ごろから考えております。

さて、話は変わりますが私が留学をしていたのは 1995 年から 96 年になります。行田さくらロータリークラブよりご推薦をいただき、イギリスのロンドン大学へ留学させていただきました。私の留学先はロンドン大学といいながらもロンドンの郊外約 30Km のところに位置し、非常にのどかな環境にある学校でありました。そこで 1 年間経営学部に入り、国際経営学について学んでまいりました。当時はまだ日本の経営についても注目されている頃でありましたので、日本の自動車産業、電機産業、商社などについて授業でもよく取り上げられていました。私が滞在していた寮は建てられて 100 年近く経つ古い

もので、火災に対する警戒がとても強く、何度か大変な思いをしました。毎週月曜日の朝に火災報知器のテストがあり目覚まし代わりになるのですが、それ以外にも実際には火災でないにもかかわらずよくこの火災報知器が作動し、その都度夜中であっても一度外へ出なくてはならず真冬によく寒い思いをいたしました。

現地でお世話になったロータリークラブは 13 名ほどのとても小さなクラブで非常にアットホームな雰囲気です。いつも温かく迎えてくださいました。例会は夜間にパブで行われますが、お酒を飲みながらのとてもカジュアルな雰囲気です。日本とは少し違うなと感じました。例会中に 3 回も乾杯が行われていましたので、飲みすぎには気をつけないといけないと思います。昨年 8 月に訪問した際も、留学時以来のクラブ訪問でしたが、まるでいつも会っているかのように自然に皆さんが歓迎してくださりととてもうれしく思いました。イギリスにも帰るところが出来たことが私にとって非常に大きな財産となりました。

私事で恐縮ですが、今月のガバナー月信に載っておりますのですでにお気づきの方もいらっしゃるかと思いますが、9 月に結婚をいたしました。相手も同じ学友の仲間で、ロータリーのこの奨学金がなければこのような展開はなかったわけですので、さらにロータリーの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

取り留めないお話になってしまいましたが、ロータリアンの皆様方の有形無形のさまざまなご支援により私たち学友は人生に大きな影響を与えるような経験をさせていただきました。これからもこうした経験をより多くの方にさせていただき、国際親善に貢献するためにも皆様方の更なるご支援が必要不可欠です。私たち学友も出来る限り学んだことを活かし努力していきたいと考えておりますので、今後ともご支援、ご協力のほどよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

幹 事 報 告

幹事 棚澤 正行

1.ガバナー事務所より

ロータリーレートの変更について

2.週間タイムス 第 565 号

3.地区より

* 会員増強退会防止委員会あてに「その後成果はいかがでしょうか？」

という新会員獲得のお願い

* 学友会ニュース

*職業奉仕ビデオの案内

*ロータリーワールド 11 巻 2 号

*100 歳を迎える会員の紹介について

4.クレ射撃協会会長代行 山口茂さんより「寄付のお礼」

5.熊谷 RC 深谷東 RC より会報
熊谷 RC 例会変更のお知らせ

6.K ネットよりウィルスメールのお詫びについて
BCC で送ったほうがよいのではとコメント
ベラルーシの姉妹クラブの件 追加申請

委 員 会 報 告

● 出 席 報 告

例会日 11 月 27 日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
40	19	19	1	51%

お客様：

サンティロ・ローズさん、並木せつよ様、
棚澤会員令夫人

● ニ コ ニ コ B O X

李一孝会長

11 月 7 日は立冬でした。ここのところ、あたたかい日がつづきますが、私はどうも風邪気味です。
本日は手塚様卓話よろしくお願ひ申し上げます。

棚澤正行幹事

手塚隆司様、本日はようこそ南クラブへ。卓話よろしくお願ひします。

先日は、台風と中越の寄付、会員の皆様ありがとうございました。言いそびれましたが、李会長には私に付きあっていただき、五千円の寄付をしていただきました。

山口茂会員

第 59 回国体の際には李会長、棚澤幹事はじめ多数の南ロータリークラブより、遠く、長瀬町まで、応援に来て頂き、大変ありがとうございました。ロータリーの友情に心より感謝申しあげます。クレ射撃は総合 2 位となり、私も何とか、安心致しました。

棚澤祥美様

こんばんは。今日は勉強させていただこうと思い参加させていただきました。どうぞよろしくお願い申し上げます。

吉田博三会員、喜枝様

ここのところ何度もお休みさせて頂き申しわけございません。本日も所用にてお休みさせて頂きます。

本日の卓話楽しみにしていましたが残念です、手塚様の御活躍お祈り申し上げます。

遠藤信行会員

本日は、出張で青森にきています。二週連続欠席で申し訳ありません。本日の卓話も聞けなくてとても残念です。李会長、りんごのおみやげはありませんのであしからず。

熊谷南ロータリークラブ

クラブ会報委員会 大野英夫・馬場孝・
猪俣信雄・埼玉勝・佐川順一・加藤博・
下田眞弘・丑久保紀美

TEL 048-522-6143

FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@ps.ksky.ne.jp

<http://www.ksky.ne.jp/~ksr/>